

あとむ

姫路科学館友の会会報 第176号(2022年01月)(友の会事務局発行)

「明確な答えが見つからないほど大好きな対象を、ただ観察し続けること」

地図を読む時に重要なのは、目的地よりもまずは現在地を見つけることであるように、今現在、絶滅の危機に瀕しているイヌワシの保護を考える時、彼らに関する調査資料はその企画上の現在地や標識になるのではないでしょう。

いつも快く当会報に野鳥のコラムを寄稿し続けてくださった三谷康則さまの、50年近くに及ぶイヌワシやハヤブサの観察調査もまた貴重な道しるべなのだと思います。

今号をもって、ひとまず三谷さまの「野鳥の世界」はお休みとなります。長きにわたり当会を助けて頂き、誠に有り難うございました。心より感謝御礼申し上げます。

(友の会会長 上田倫範)

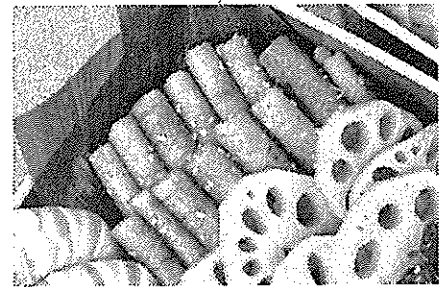


写真 三谷康則さん

花の歳時記 「ゴボウ(キク科)、レンコン(ハス科)」

お正月の食べ物といえば「おせち料理」をイメージされる方が多いと思います。その食材には、おめでたいという縁起を担ぐものが使われます。

定番食材の一つ、ゴボウはユーラシア大陸原産の二年生草本です。根を食用にします。代表的なゴボウの種類には、滝野川ゴボウ(長根種)、堀川ゴボウ(短根種)があります。深く根を張ることから、「家系の繁栄」と縁起を担ぎます。またレンコン(ハスの地下茎)は、インド原産の多年生水生植物です。勘



兵衛新田(姫路市大津区)はレンコンの産地として有名です。複数の穴が縦にまっすぐ通っているところから「見通しがきく」「将来を明るく見通せる」と縁起を担ぎます。

(友の会理事 古角孝之)

目次

- P1 会長挨拶(友の会会長 上田倫範)、花の歳時記(友の会理事 古角孝之)
- P2 地球と生命の歴史(姫路科学館 学芸・普及担当係長 徳重哲哉)
- P3 気になるムシ(環境科学大阪株式会社 森正人)
- P4 野鳥の世界(鳥類研究者 三谷康則)
- P5 「科学の足あと」シリーズ(元姫路科学館 吉岡克己)
- P6 今日から電波天文学!(北九州市立児童文化科学館 前山大地)
ほしぞら教室(京都産業大学神山天文台 本岡慧子)
- P7 北海道からのお便り(札幌市青少年科学館 学芸課天文係 福澄孝博)
- P8 科学のタネ(姫路科学館 学芸・普及担当 安田岳志)
館長の科学館だより(友の会常任理事 姫路科学館館長 中川吉郎)
姫路科学館友の会の情報